

母乳育児奮闘記

さかいたけお赤ちゃんこどもクリニック 塚 武男

この号から、僕のクリニックで体重が増えない、離乳食を食べないなどなどの相談に来られ、毎月外来で相談を重ねてきたお母さんと赤ちゃんの奮闘記を紹介することにしました。

会員の皆様でもこんなに頑張ったお母さんを是非紹介したいということ時は事務局にご連絡下さい。僕のクリニックに限らず奮闘記を紹介したいと思います。

第1回 本当は僕も少し不安だったけど正常に発達、発育したN君のこと。

N君は38週4日、12月16日、普通分娩で出生、体重2784g、身長50cm、勿論仮死もなかった。ところがなかなか母乳がうまく飲めず、体重はどんどん減少、日齢3で2518g（-9.5%）。日齢11に僕のクリニックに産科の先生から紹介で来院。来院時体重2405g（-13.5%）、初診で一見してガリガリでおまけにその日は12月27日、次の日の診療を最後に1月4日まで休診、僕は家族で温泉に出掛ける予定になっていた。

「えー、明後日から休みだよ、このままだと少しやばいな」と少しのみならず不安になる。スタッフの所見では、母親が大乳頭でN君はうまく吸えず、有効に授乳出来ていない。搾乳すると30ccは出るので母乳分泌は問題なし。お母さんは母乳で育てたいという強い意志をお持ちだ。兎に角少しずつでもいいから吸ってもらう様に話し、直母と搾乳でつなぐこととして、休み中にどうしても吸えない時のために「こども病院」宛に紹介状を書き、飲めない時、尿、便が出ない時はこの紹介状を持ってこども病院に駆けこんで貰う様に話す。

明けて1月4日、診療開始。N君は何とか飲めており、こども病院にも行かずに済み、体重も60g増えており、1.5ヶ月の時に来てもらうことにする。

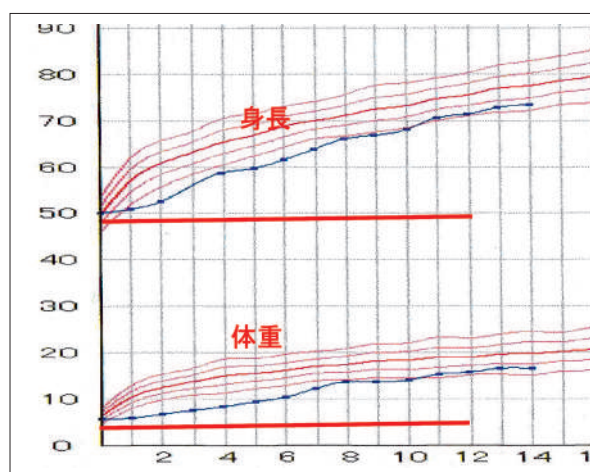
1.5ヶ月：体重2885g、11g/日の増加。直母可になり、搾乳は中止。母乳で育てたいという母親の意思を支援することを再確認。胸部X-P問題なし。

2ヶ月：体重3300g、12g/日の増加。直母8-10回で安定。あやし笑い、指しゃぶり、追視OKで発達は順調。

3ヶ月：体重3730g、11g/日の増加。首座りOK。筋肉量は少ないが筋緊張はOKだ。

4ヶ月：4178g、15g/日の増加。身長58.6cm、身長も月2cm伸びている。

県内の少し遠方の町に引っ越すことになり、僕のところは月一回の受診とし、その他は近くの小児科に行ってもらうこととして紹介状を書く。



2週間後に予約外で来院。「体重の増えが悪いから脳の発達も悪くなる」ときつく言われ不安になったという。これまでも体重と神経発達には関係がないことは説明していたが、再度ゆっくり文献を見せながら説明する。やれやれと思う。

5ヶ月：体重4630g、15.5g/日の増加。少し増えてきたねと話し、離乳食を開始してもらおう。人工乳は足さず、離乳食を5ヶ月から開始するようにしているが、小児科学会でもその方針を支持している。仰臥位の移動OK、目手口の協調運動OK。

6ヶ月：体重5175g、23g/日の増加。離乳食2回とする。よく食べる。

引越し先での健診で「体が硬いから療育が必要だ」と言われる。発達は全く問題なく、関節、筋の硬直も無いことを診察しながら説明。「どこに行っても大丈夫って言われないんですけど本当に大丈夫ですよ？」。そう言われるとさすがに僕も少し不安にはなるが診察上問題無いので大丈夫だよと伝える。

7ヶ月：体重6040g、15g/日の増加。離乳食3回、よく食べる。母乳10回。腹臥位の移動OK（平均は8ヶ月）。前に手をついて座る「支え座り」OK。発達問題なし。

8ヶ月：体重6750g、20g/日の増加。やっと体重増加が良くなってきた。むしろこの時期の体重増加としては多い方だ。お座りOK、ずり這いOK、ホッピング反応も出ている。

9ヶ月：体重6815g。体重増えが今回少ないので不安だとお母さん。前回随分増えたのでこの月齢はこんなものだよと説明。這い這いOK、つかまり立ちOK（平均10か月）。僕のクリニックでルーチンに行っている鉄欠乏性貧血の検査施行。Hb：11.9、MCV：67.3。鉄剤を飲んでもらうことにする。

10ヶ月：体重7200g、身長68cm、Hb：12.7、MCV：68.1。貧血は改善しているが、もう一ヶ月鉄剤を飲んでもらう。

1歳：体重7800g、身長71.2cm。伝い歩きOK、ピンセットつまみ（親指と人差し指の2本で小さいものをつまむ、ごみや髪の毛を拾う）OK。発達問題なし。これまでの定期フォローを、2-3ヶ月に一回は来てもらう随時フォローに切り替える。

現在1歳3ヶ月。独歩OK、指差しOK。有意語もう少し。

8ヶ月頃まで鼻汁が多く、いつもズリズリ、吸引は頻回。やや小顎症気味。今後も小児科的なフォローアップが必要と思われるがマイナーな問題との付き合いになると考えている。

最近の会話。

「どう、最近は少し安心している？」と堺

「これまで色々なことをお医者さんや周囲の人たちに言われてきて、そのたびに崖から落とされた感じで、何度もこの子と一緒に這い上がってきました。また崖から落とされるんじゃないかという不安はとても消えませんか」とお母さん。

もう少し長い付き合いが続きそうだ。